

# 第11回昭和女子大学日文公開講座

この講座では「話し合い」を会話データ分析の手法で解体します。話し合いの目的、種類、テーマ、参加者役割、効果について整理し、「よい話し合い」を行うためにはどのような条件が必要か、実際の話し合いの動画を見ながら考えていきます。「話し合い」とは、複数の参加者が特定の話題について意見交換や意思決定などを行うコミュニケーションのことです。私たちが学校や職場などの日常的な場で、友達や同僚と人間関係を築き、よりよいコミュニティを形成していくために、「話し合い」は必須です。この講座で「話し合い」の条件を学び、日常生活を充実させていきたいと思えます。

## 「話し合い」



## を解体する

令和5年

10月28日

土

13時10分 ↓ 14時40分

講師 寅丸真澄

(早稲田大学日本語教育研究センター教授)

講師 大場美和子

(昭和女子大学日本語日本文学科准教授)

会場

昭和女子大学  
オーロラホール

(三軒茶屋駅徒歩7分)

※オンライン参加も可能

申込



参加無料・要予約

申込URL: <https://swuhp.swu.ac.jp/university/nichibun/openlecture.html>

主催: 昭和女子大学日本語日本文学科(問合先 03-3411-5019)



第11回昭和女子大学日文公開講座  
登壇者プロフィール

早稲田大学  
日本語教育研究センター教授  
とらまるますみ

寅丸真澄

早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程 博士後期課程で日本語教育学を専攻し、会話データ分析を行う。同大学院より博士号（日本語教育学）取得。修士課程では日本語の討論の談話構造の分析を行った。博士後期課程では日本語授業の教室談話分析と実践研究により、学習者の自己形成と自己実現を支援する日本語教育について検討した。東京外国語大学、早稲田大学などで留学生および日本人学生に対する日本語教育、日本語教員養成に携わる。現在は、談話研究に加え、留学生のライフキャリアを踏まえたキャリア教育とキャリア形成支援、自律学習支援の研究を行っている。著書に『学習者の自己形成、自己実現を支援する日本語教育』（2017）、「」出版などがある。

昭和女子大学  
日本語日本文学科准教授  
おおはみわこ

大場美和子

筑波大学、筑波大学大学院修士課程、千葉大学大学院博士課程で日本語教育学を専攻し、会話データ分析を行う。筑波大学、群馬大学、広島学院大学などで日本語教育、日本語教員養成に携わる。留学生との交流や留学生センターでの教育経験をふまえて、大学生の雑談から社会人の就労場面の会話まで、日本語母語話者と非母語話者による多様な異文化接触場面のやりとりの特徴を会話データから探っている。そして、その研究成果を日本語教育や日本語教員養成へ還元していくことを目指している。接触場面と母語場面の三者会話に関する研究で、千葉大学大学院より博士号（学術）取得。2014年から昭和女子大学に着任。著書に『接触場面における三者会話の研究』（2012）ひつじ書房などがある。

お申し込み方法

昭和女子大学 日文



スマートフォンからはQRコードでアクセス

- 1 日文公開講座のページへアクセス  
<https://swuhp.swu.ac.jp/university/nichibun/openlecture.html>
- 2 申し込みフォームにメールアドレスなどを入力し送信

後日、参加方法を記したメールをお届けします  
当日は会場またはメールに記載のURLにアクセスして視聴



会場へのアクセス  
昭和女子大学8号館6階オーロラホール

東京都世田谷区太子堂1-7-57  
東急田園都市線三軒茶屋駅下車  
南口A出口から地上へ  
国道246号線を渋谷方面へ  
(階段を上がる方向でそのまま直進)  
正門まで約400m・徒歩約7分